

【コンサルはオリコンサルグローバルJV ラオス上水道拡張工事で契約調印式】



ラオス上水道拡張 工事で契約調印式

コンサルはオリコン
サルグローバルJV

オリエンタルコンサルタンツグローバルは、ラオスの首都ビエンチャンの衛生環境向上と地域住民の生活環境を改善する、「ビエンチャン上水道拡張工事（C.P.1）および（C.P.2）」の契約調印式が開かれたことを明らかにした。

同社を代表とした豪SME C社との2社JVが実施設計と入札支援、施工監理などのコンサルタント業務をラオス

国政府から受注して実施。浄水場・取水口の拡張、配水池整備、送配水管整備を含むコントラクトパッケージ1（C.P.1）は大成建設が施工し、浄水場と配水センターのポンプ・モーターなどの機械設備調達を含むコントラクトパッケージ2（C.P.2）をクボタ・丸紅プロテックスJVが担当する。

この事業は、都市化の進展に伴い、今後増大が見込まれる生活用水や工業・商業向けなどの水需要に対応するた

め、日本政府が102億7100万円を限度とする円借款を供与し、ビエンチャン南部に位置するチナイモ浄水場の拡張と取水口、送配水関連設備の整備、配水センターの改修・拡張などを実施する。事業完了は2024年度を予定している。